

1. 授業のねらい・概要

工業簿記は、製品の製造活動、すなわち、原材料や労働力といった経済的資源が製品になるまでの過程を簿記という手法によって、組織的に記帳し計算するものである。この手法によって提供される情報は、財務諸表を構成する貸借対照表や損益計算書の作成のための基礎的データとして用いられることから、製造業にとっては、その必要性が極めて高いといえる。

本講義では、工業簿記を理解するうえで、必要な基本的用語の説明を行うとともに、各計算手法についての習得を行う。

2. 授業の進め方

テキストにそって講義を行うとともに、理解度をチェックするためにワークブックを用いて練習問題を行う。

3. 授業計画

1. 工業簿記概説	9. 直接原価計算 (1)
2. 部門費の計算	10. 直接原価計算 (2)
3. 組別総合原価計算	11. CVP分析 (1)
4. 等級別総合原価計算	12. CVP分析 (2)
5. 工程別総合原価計算	13. 営業費の計算
6. 連産品の原価計算	14. 工場会計の独立
7. 標準原価計算 (1)	15. まとめ
8. 標準原価計算 (2)	

4. 到達目標

各テーマについて理解を深め、仕訳と計算ができるようになることを目的とする。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

次回講義を行うテーマについてテキストを読んでおくこと (30 分程度)。

6. 成績評価の方法・基準

授業への参加意欲を 50%，学期末試験を 50%の割合で評価を行う。

7. テキスト・参考文献

初回の講義で指示する。

8. 受講上の留意事項

なし